

# 令和7年度 豊橋市健幸なまちづくり協議会 生活習慣病対策部会

日時:令和7年11月20日(木)

午後1時30分～午後3時

場所:豊橋市保健所 第一会議室

## 1 あいさつ

## 2 議題

(1) 特定健康診査等の現状および受診率向上について

資料1-1、1-2、1-3

(2) 健診結果とレセプト分析からみる健康課題

ア 特定健康診査結果の状況と健康づくりに対する取り組み

資料2-1、2-2

イ 糖尿病の状況と糖尿病予防に対する取り組み

資料3-1、3-2

(3) 医歯薬連携における糖尿病重症化予防

資料4

## 3 その他

<事前配布資料> 当日資料をお持ちください

・次第

・豊橋市健幸なまちづくり協議会生活習慣病対策部会運営要領

・豊橋市健幸なまちづくり協議会生活習慣病対策部会名簿

・資料1-1 豊橋市の健康診査等の現状および受診率向上について

・資料1-2 豊橋市市民意識調査結果

・資料1-3 受診率向上に対する取り組み

・資料2-1 豊橋市の健診結果とレセプト分析からみる健康課題 特定健康診査結果の状況

・資料2-2 健康づくりに対する取り組み

・資料3-1 豊橋市の健診結果とレセプト分析からみる健康課題 糖尿病の状況

・資料3-2 糖尿病予防に対する取り組み

・資料4 医歯薬連携における糖尿病重症化予防

・参考資料

※全国健康保険協会の資料については、本部会のみでの使用とさせていただきますので、他への無断での活用はお控えください。

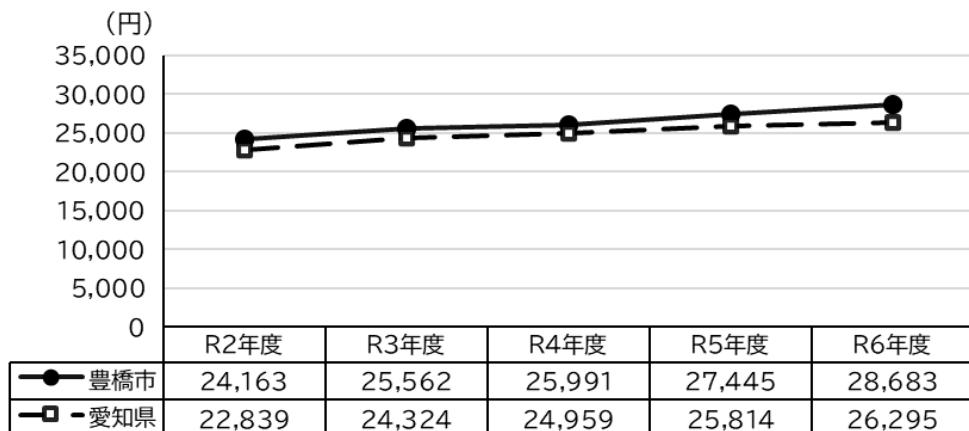
## 2 議題

## (1)特定健康診査等の現状および受診率向上について

## ア 豊橋市国民健康保険の医療費の現状

## (ア) 1人あたりの医療費の推移

図1

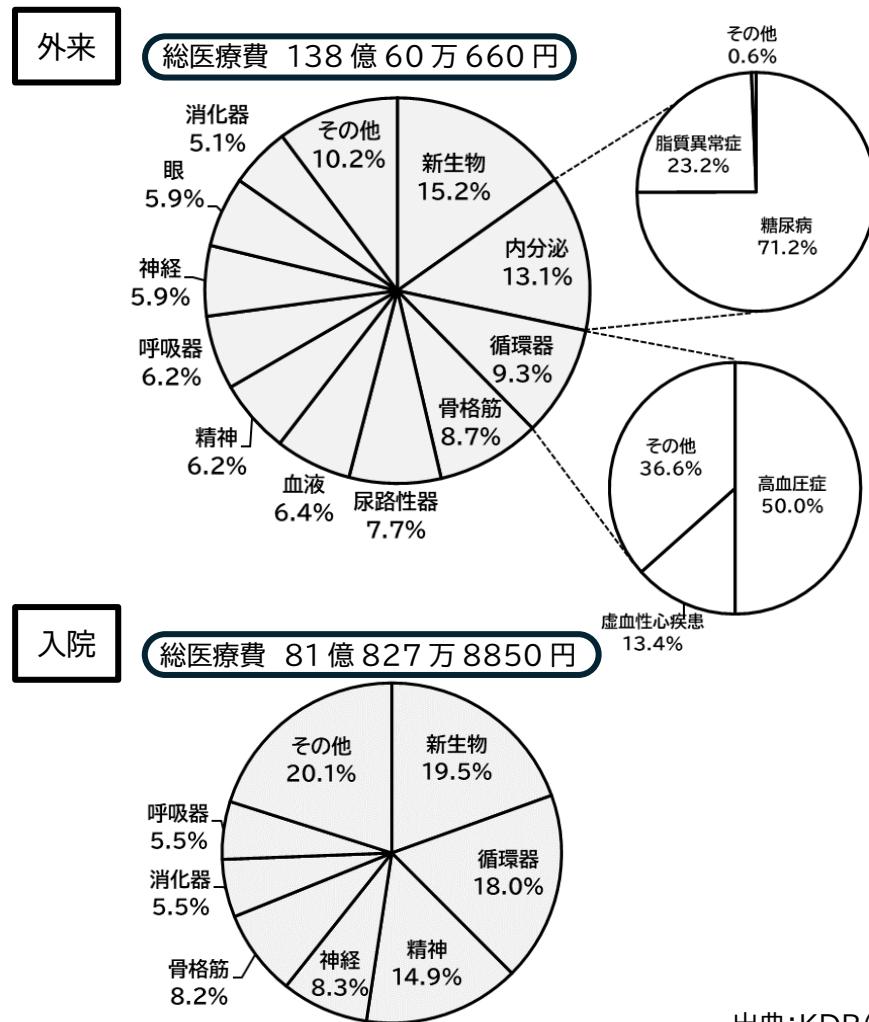


出典:KDB

愛知県と同様に1人あたりの医療費は増加傾向にあり、豊橋市は愛知県よりも医療費が高くなっています。

## (イ) 医療費に占める疾患別割合

図2



出典:KDB(令和6年度累計)

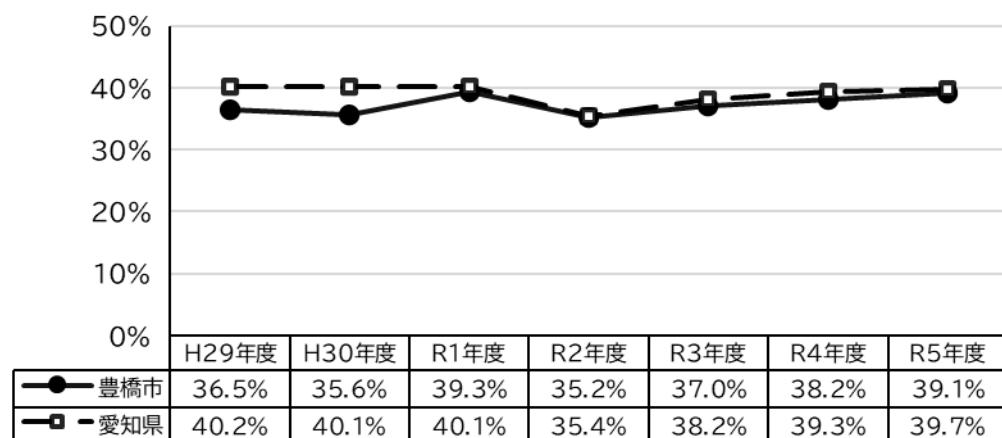
外来では新生児が最も多く、次いで内分沁、循環器の順に多くなっています。内分沁の内訳では、糖尿病が7割以上を占めており、循環器の内訳では、高血圧が5割を占めています。入院では新生児、循環器の順に多くなっており、次いで精神、神経となっています。

## イ 特定健康診査等の受診率の状況

### (ア) 特定健康診査の受診率の推移

#### 国民健康保険

図3



出典:KDB(法定報告値)

図4

全国健康保険協会のご意向で非表示としています。

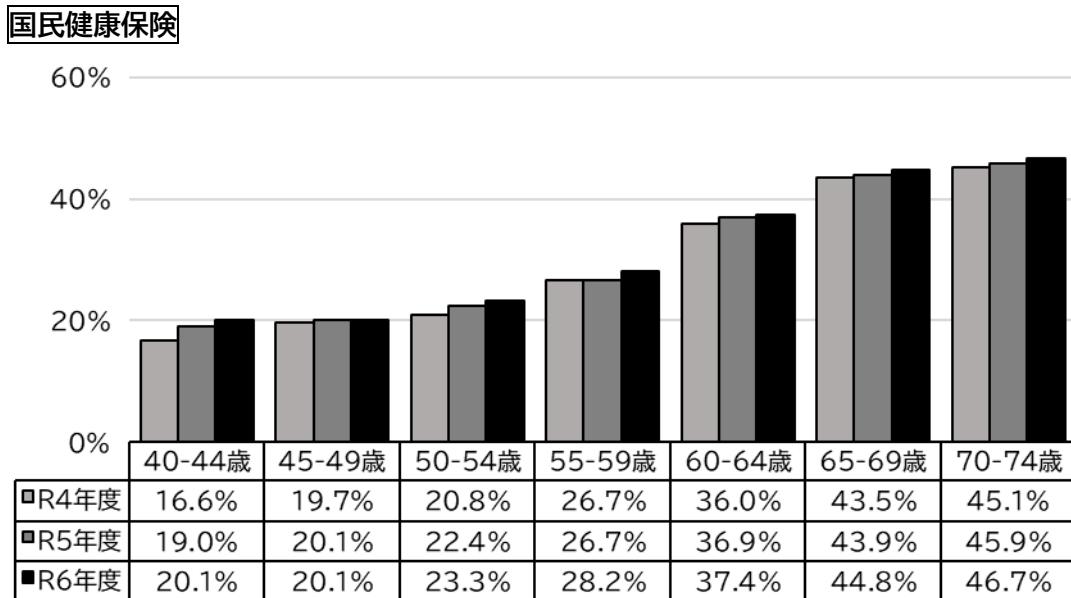
※全国健康保険協会の豊橋市は市内在住者を示します。

資料:全国健康保険協会愛知支部提供データ

豊橋市国民健康保険の特定健康診査受診率は平成30年度までは愛知県と比較して約5%低くなっていますが、令和1年度から AI 等を活用して対象者の特性にあわせた受診勧奨を開始し、愛知県平均とほぼ同程度の受診率となっています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で受診率が減少しましたが、それ以降は毎年増加しています。

(イ) 年齢別特定健康診査受診率の推移

図5

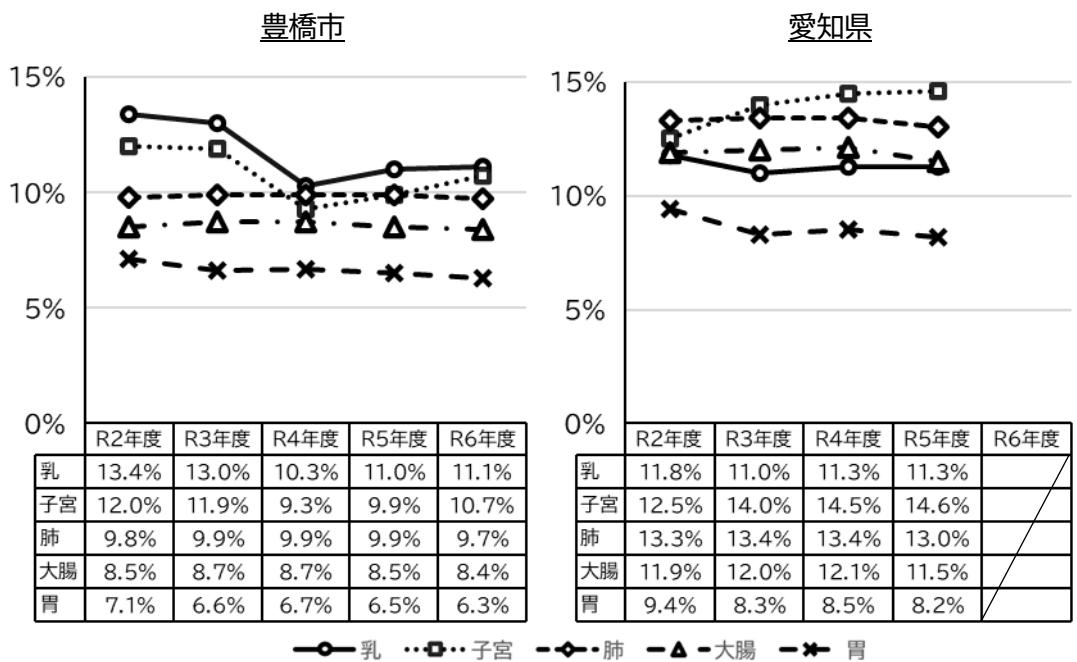


資料:豊橋市特定健康診査(令和4年から令和6年度)

すべての年代で受診率が増加しており、特に40歳から44歳では令和6年度と令和4年度を比較すると約4%増加しています。しかし、全体の割合からみると40歳代から50歳代は受診率が低い状態となっています。

(ウ) 豊橋市がん検診受診率の推移

図6



※愛知県は50歳未満の内視鏡検査の数を含まない

※愛知県の乳はマンモグラフィーのみでエコーは含まない

【豊橋市】資料:豊橋市各種検診 【愛知県】出典:県内市町村のがん検診の実施状況等について

本市のがん検診の受診率は令和2年度と比較すると減少傾向となっています。乳がんと子宮頸がん検診については令和4年度から徐々に増加しています。

愛知県と比較すると、すべてのがん検診で受診率が低い状態となっています。

## 令和7年度豊橋市市民意識調査結果

## 10. 健康診査（健康診断）の受診について

問26 あなたが加入する健康保険の種類を教えてください。  
【あてはまるものを1つ】

項目	回答数	割合
1 国民健康保険（自営業やフリーランスなど）	675	26.6%
2 後期高齢者医療制度	509	20.1%
3 1. 2以外の方（民間企業や公務員などの被用者保険）	1,265	49.9%
4 わからない	84	3.3%
合計(有効回答数)	2,533	100.0%

問27 あなたはこの1年間に自分の健康管理のために、健康診査等を受けましたか。  
【あてはまるものをすべて】

項目	回答数	割合
1 健康診査（身長・体重・腹囲・血圧・血液・尿検査等基本的な健診）	1,668	68.0%
2 人間ドック	294	12.0%
3 肺がん検診	407	16.6%
4 胃がん検診	386	15.7%
5 大腸がん検診	485	19.8%
6 子宮頸がん検診	401	16.3%
7 乳がん検診	391	15.9%
8 受けていない	446	18.2%
9 その他	34	1.4%
合計(有効回答数)	2,454	

<問27で「8」と答えた方にお聞きします。>  
問28 健康診査等を受けていない理由を教えてください。  
【あてはまるものをすべて】

項目	回答数	割合
1 忙しくて受診する時間がない	79	18.2%
2 費用がかかり、経済的に負担	60	13.8%
3 必要性を感じない	41	9.4%
4 面倒	62	14.3%
5 不調があれば医療機関を受診する	188	43.2%
6 定期的に医療機関にかかっている	129	29.7%
7 悪い結果が出るのが不安	51	11.7%
8 健康診査等の内容や受けられる場所を知らない	20	4.6%
9 その他	47	10.8%
合計(有効回答数)	435	

## 10. 健康診査（健康診断）の受診について（問26～問28）

問26 あなたが加入する健康保険の種類を教えてください。

【あてはまるものを1つ】

(n = 2,533)

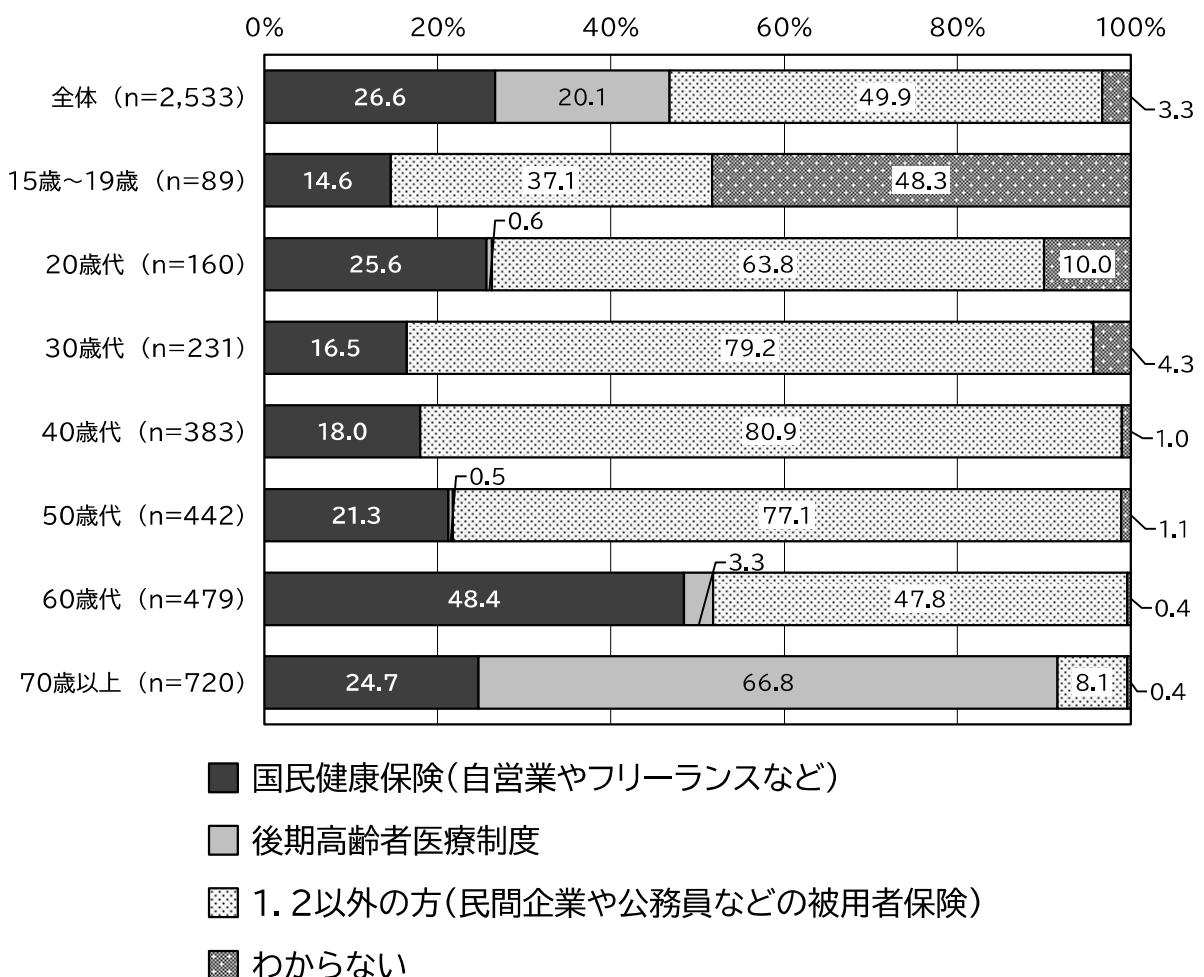
### (1) 全体的傾向

「1. 2以外の方（民間企業や公務員などの被用者保険）」と回答した人の割合が49.9%と最も高くなっている。次いで「国民健康保険（自営業やフリーランスなど）」が26.6%、「後期高齢者医療制度」が20.1%となっている。

### (2) 年代別にみた特性

20歳代から50歳代では、「1. 2以外の方（民間企業や公務員などの被用者保険）」と回答した人の割合が63.8～80.9%と最も高くなっている。

60歳代では、「国民健康保険（自営業やフリーランスなど）」と回答した人の割合が48.4%、70歳以上では、「後期高齢者医療制度」と回答した人の割合が66.8%と最も高くなっている。



問27 あなたはこの1年間に自分の健康管理のために、健康診査等を受けましたか。

【あてはまるものをすべて】

(n = 2,454)

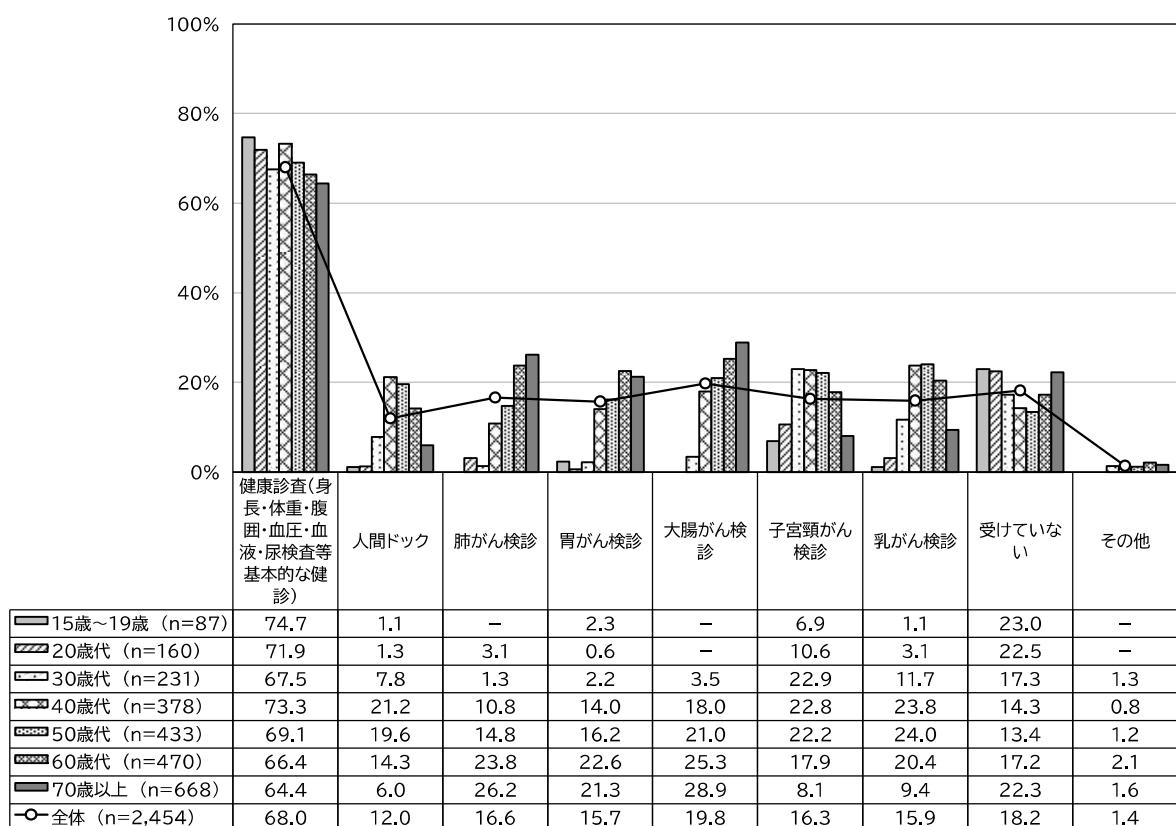
(1) 全体的傾向

「健康診査(身長・体重・腹囲・血圧・血液・尿検査等基本的な健診)」と回答した人の割合が 68.0%と最も高くなっている。次いで「大腸がん検診」と回答した人の割合が 19.8%、「受けていない」と回答した人の割合が 18.2%となっている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で、「健康診査(身長・体重・腹囲・血圧・血液・尿検査等基本的な健診)」と回答した人の割合が 64.4~74.7%となっている。

15 歳~19 歳、20 歳代、70 歳以上では、「受けていない」と回答した人の割合が 22.3 ~23.0%と 2 割を超えている。



<問27で「受けていない」と回答した方にお聞きします>

問28 健康診査等を受けていない理由を教えてください。

【あてはまるものをすべて】

(n=435)

(1) 全体的傾向

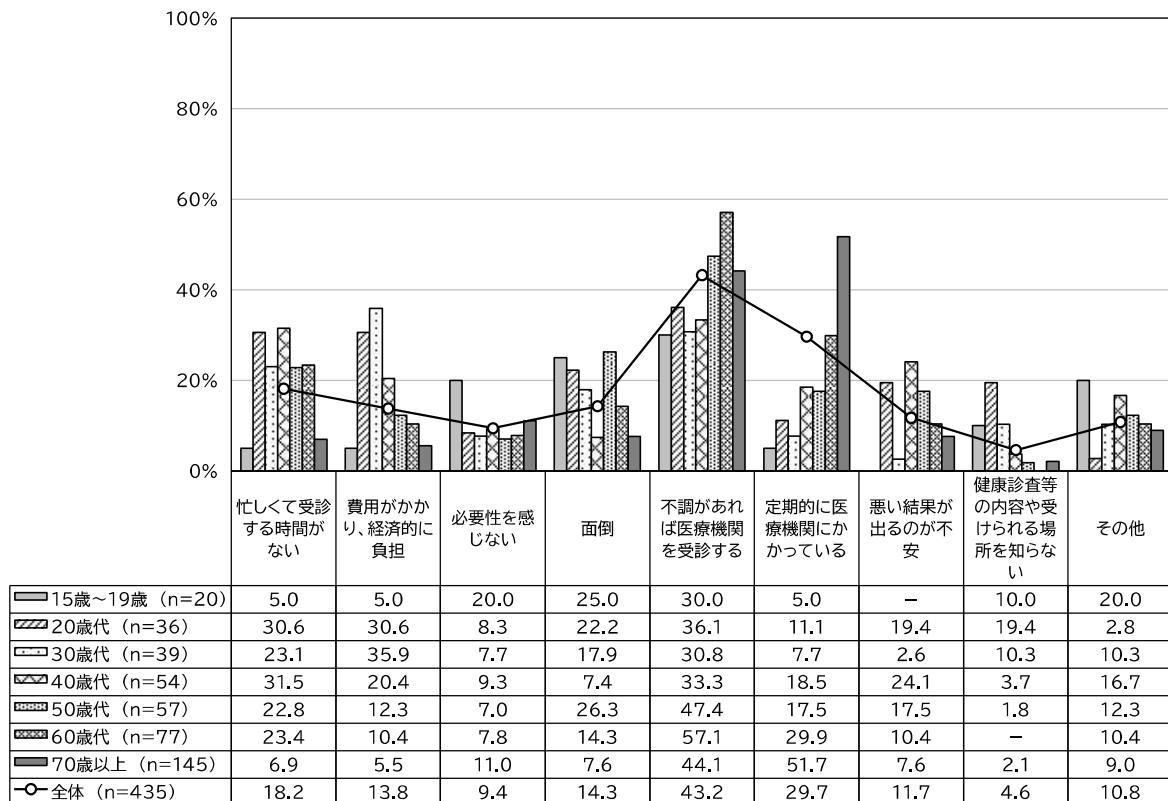
「不調があれば医療機関を受診する」と回答した人の割合が 43.2%と最も高くなっている。次いで「定期的に医療機関にかかっている」と回答した人の割合が 29.7%、「忙しくて受診する時間がない」と回答した人の割合が 18.2%となっている。

(2) 年代別にみた特性

20歳代以下、40歳代から60歳代では、「不調があれば医療機関を受診する」と回答した人の割合が 30.0~57.1%と最も高くなっている。

30歳代では、「費用がかかり、経済的に負担」と回答した人の割合が 35.9%と最も高くなっている。

70歳以上では、「定期的に医療機関にかかっている」と回答した人の割合が 51.7%と最も高く、他の年代と比べて急激に高くなっている。



## ウ 本市の受診率向上に対する取り組み

	対策	実施内容
一次 予 防	特定健康診査 受診率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者全員への受診券送付</li> <li>・特定健康診査未受診者への勧奨(ハガキまたは SMS)</li> <li>・YouTube のインストリーム広告を用いた啓発</li> <li>・「がん検診・特定健康診査等のご案内」(5/1 号広報とよはし同配)</li> <li>・途中加入者への国保年金課窓口啓発及び医療費通知等への掲載</li> <li>・JA 豊橋広報誌への折り込みチラシによる啓発</li> <li>・各種イベントでの啓発</li> <li>・各種がん検診と同時に受診できる集団健診の実施</li> <li>・医療機関の医師からの積極的な勧奨</li> </ul>
	受診する機会の ない者を対象と した健診の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病健康診査を受ける機会がない 30・35 歳の人を対象とした健康診査の実施</li> </ul>
二次 予 防	がん検診 受診率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代に向けた子宮頸がんの 4 コマ漫画作成による啓発</li> <li>・ハガキによる女性がん検診の受診者勧奨</li> <li>・Web 申込による受診券の発行</li> <li>・全国健康保険協会と連携したがん検診の実施</li> </ul>

## (2) 健診結果とレセプト分析からみる健康課題

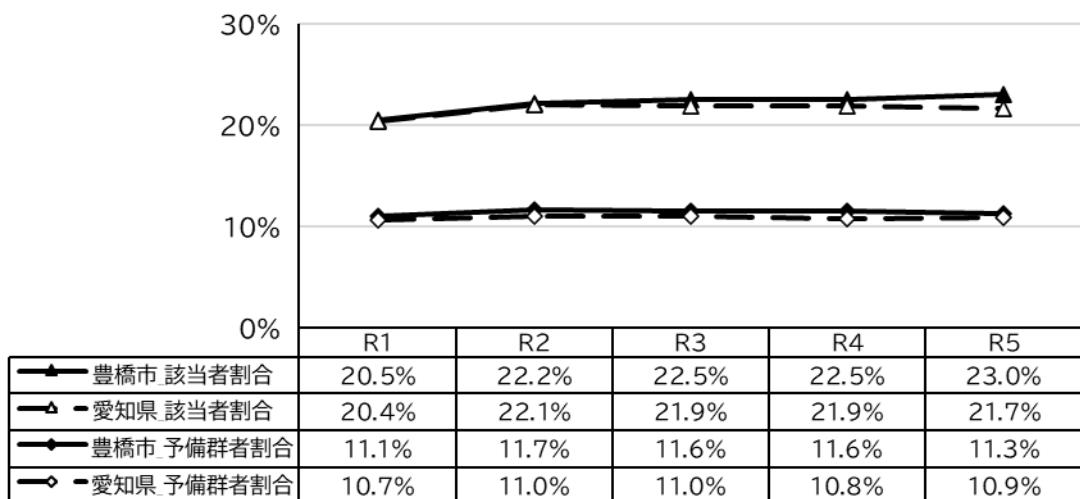
## ア 特定健康診査結果の状況と健康づくりに対する取り組み

## (ア) 特定健康診査結果の状況

## a メタボリックシンドローム該当者及び予備群該当者割合

## 国民健康保険

図7



出典:KDB、AI Cube(法定報告)

図8

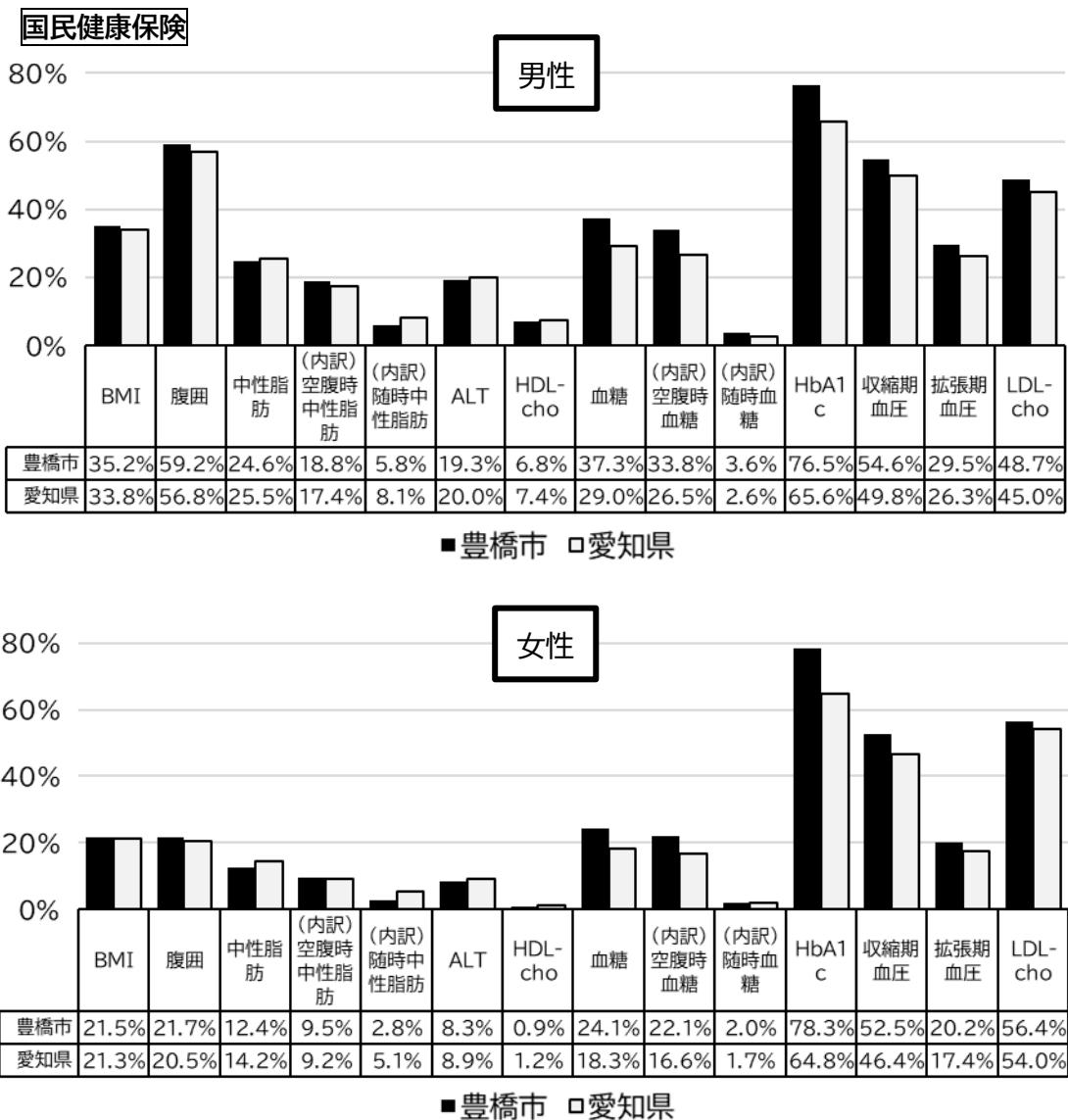
全国健康保険協会のご意向で非表示としています。

資料:全国健康保険協会愛知支部提供データ

豊橋市国民健康保険のメタボリックシンドローム該当者は増加傾向にあり、予備群該当者はほぼ横ばいとなっています。愛知県と比較すると、メタボリックシンドローム該当者と予備群該当者ともに高くなっています。

b 特定健康診査有所見者割合(令和6年度)

図9



出典:KDB(厚生労働省様式 5-2)

愛知県と比較すると男女ともに腹囲、血糖、HbA1c、収縮期血圧、拡張期血圧、LDLコレステロールの割合が多くなっています。特に、血糖やHbA1c、血圧について有所見者の割合が多くなっています。

HbA1cの有所見者の内訳は、5.6%以上6.0%未満の割合が約5割を占めています。

※有所見者とは特定健康診査の項目で有所見者判定基準を超えた者となります。

## (イ) 本市の健康づくりに対する取り組み

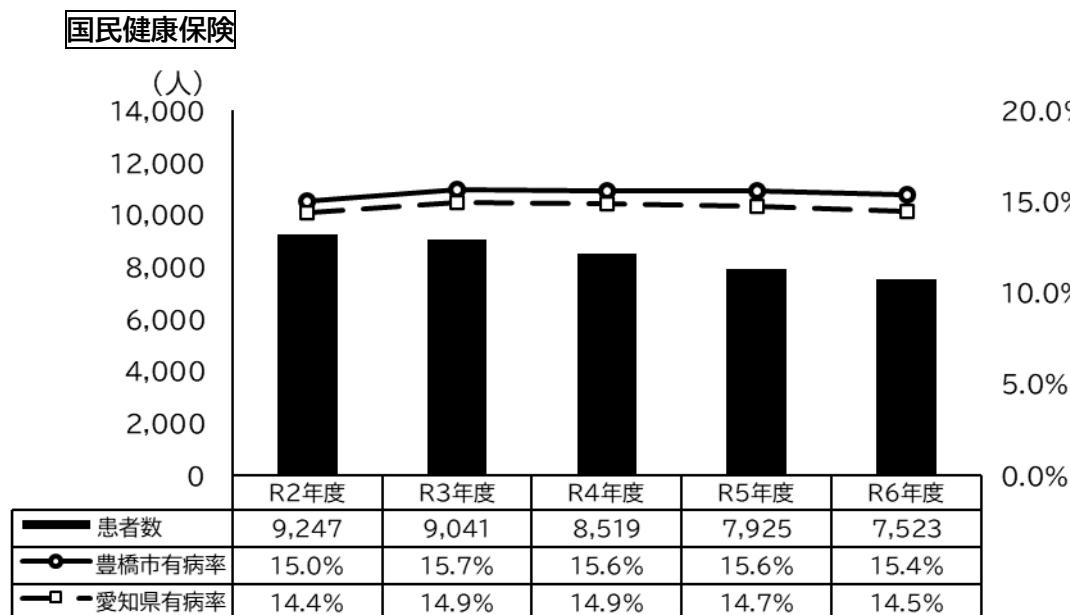
一次 予 防	対策	実施内容
	働き世代に向けた健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康経営の推進(とよはし健康宣言事業所の認定・表彰・支援)</li> <li>・歩数アプリ「あいち健康プラス」を活用したウォーキングイベントの実施</li> <li>・自身の体力に合わせて歩くクアオルト健康ウォーキングの定期開催</li> <li>・学校や家庭、地域の小売店舗と連携した食環境整備</li> <li>・栄養成分表示等に取り組む飲食店を「健康づくり応援団」として認定、市民へ活用を周知</li> <li>・食のボランティア「食生活改善推進員」や「食改サポーター」の養成と活動サポート</li> <li>・特定給食施設への巡回指導</li> <li>・とよはし睡眠ウィーク期間中のセミナー実施や啓発活動</li> </ul>

## イ 糖尿病の現状と糖尿病予防に対する取り組み

## (ア) 糖尿病の現状

## a 糖尿病患者数の推移

図10

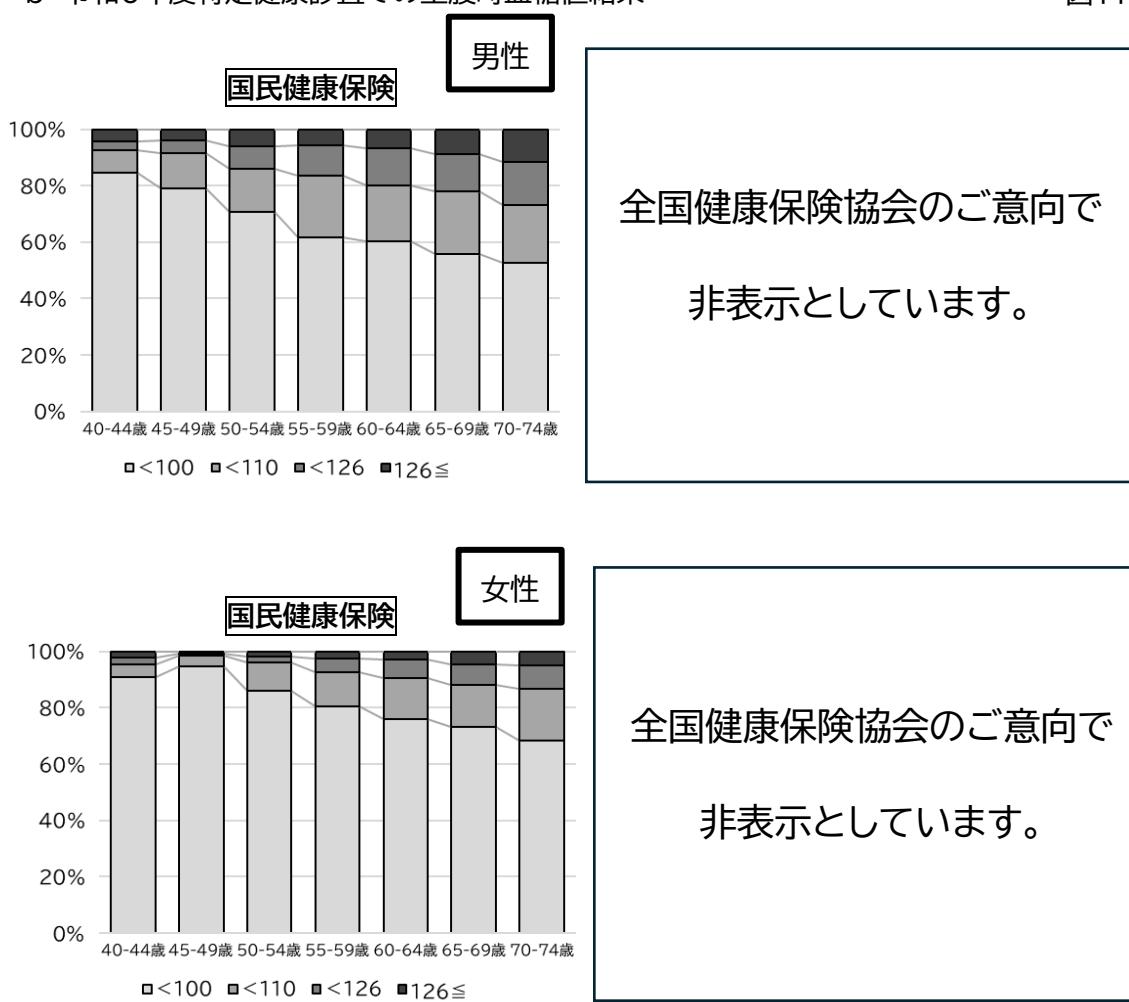


出典:KDB、AI Cube

患者数は徐々に減少していますが、糖尿病の有病率は横ばいとなっており、愛知県と比較すると高い状況が続いています。

## b 令和6年度特定健康診査での空腹時血糖値結果

図11

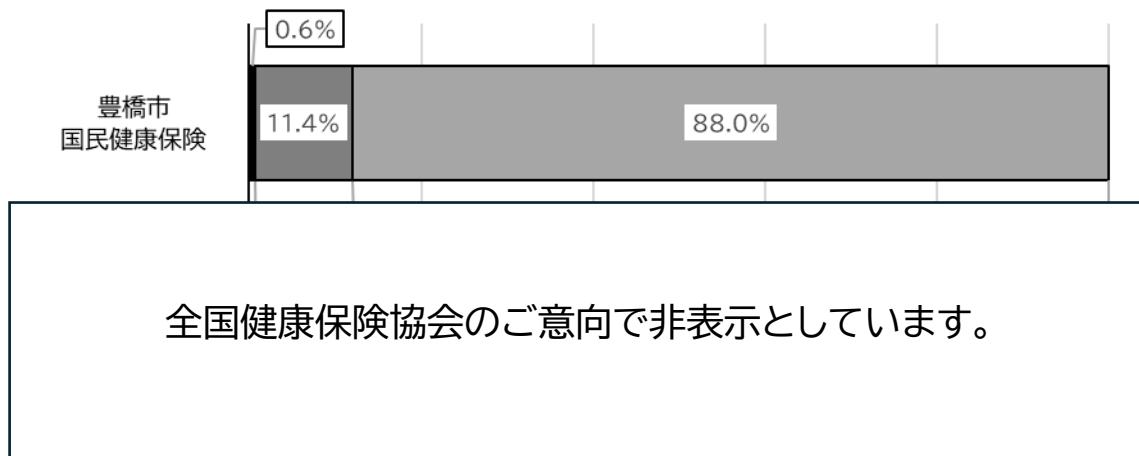


資料:豊橋市特定健康診査、全国健康保険協会愛知支部提供データ

空腹時血糖値 110mg/dL 以上の区分の割合は女性よりも男性が多く、年齢があがるにつれて割合が増加しています。

c 糖尿病性腎症の病期別割合

図12



■腎症4期 ■腎症3期 ■腎症2期以下

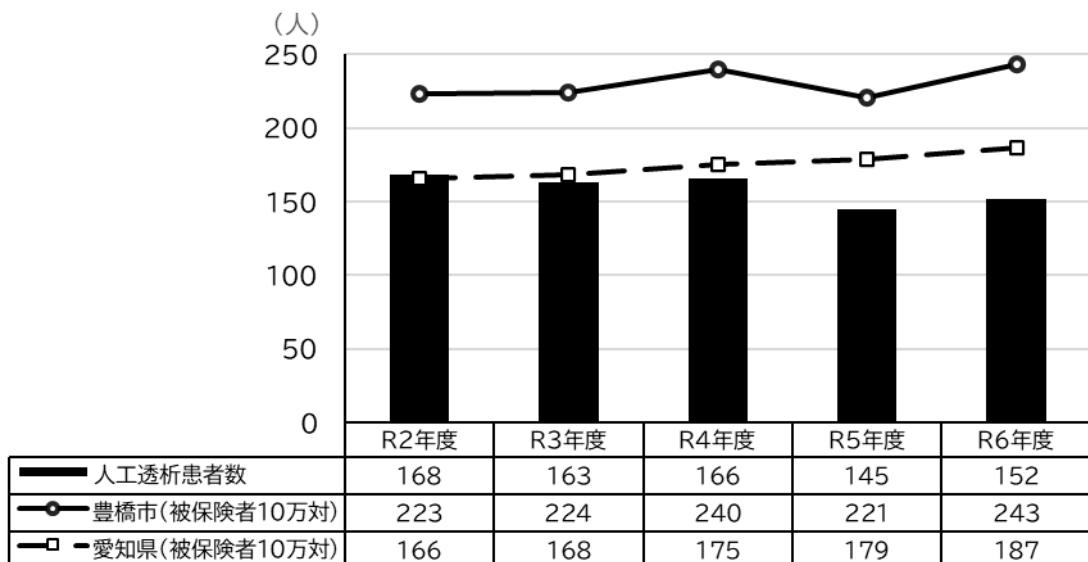
資料:豊橋市特定健康診査、全国健康保険協会愛知支部提供データ

糖尿病性腎症の病期別割合については、腎症4期は約 1%、腎症3期は約 11%となっています。

d 人工透析患者数の推移

図13

## 国民健康保険

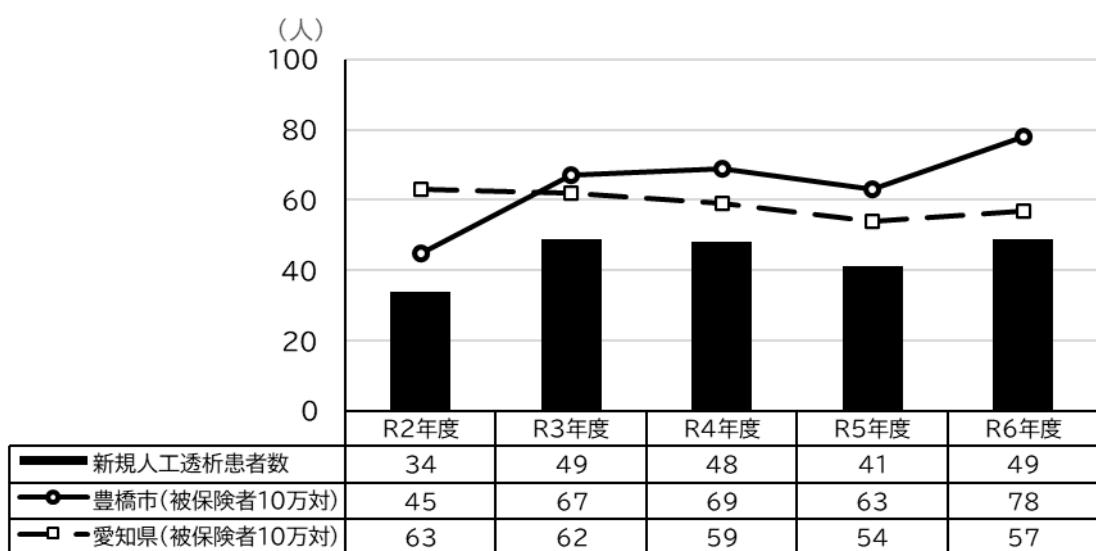


出典:KDB、AI Cube

e 新規人工透析患者数の推移

図14

## 国民健康保険



出典:KDB、AI Cube

透析患者数は減少傾向となっていますが、被保険者 10 万対では年々増加しており、令和 6 年度は愛知県と比較して 1.3 倍多くなっています。新規透析患者数の被保険者10万対では、愛知県は減少傾向ですが、豊橋市は年々増加傾向となっており、愛知県よりも多くなっています。

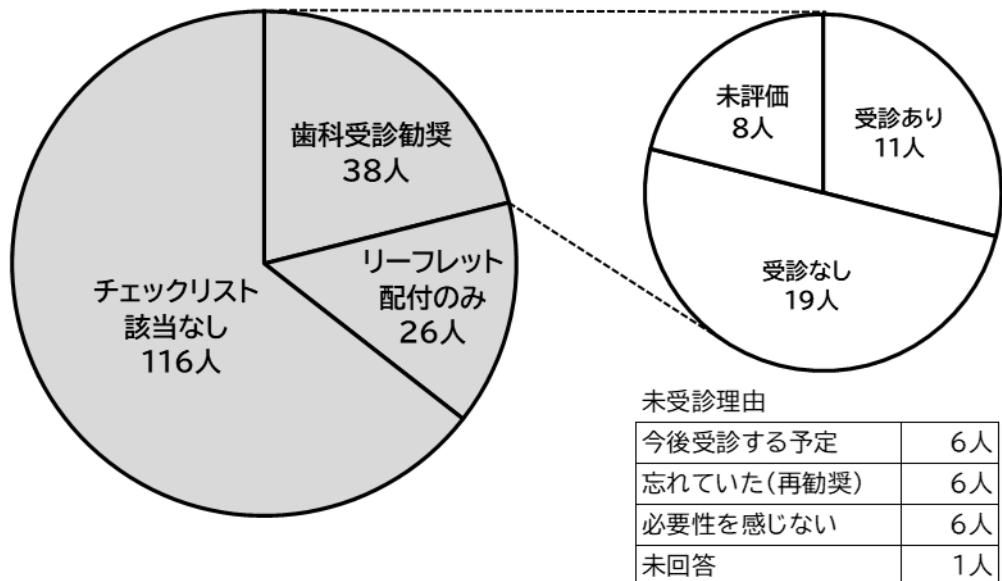
## (イ) 本市の糖尿病予防に対する取り組み

	対策	実施内容
一次 予防	糖尿病の知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国糖尿病週間に合わせた啓発 ブルーライトアップ、市役所及び保健所での糖尿病啓発パネル展示 広報とよはしやホームページでの啓発</li> <li>・糖尿病及び慢性腎不全に関する市民公開講座の開催</li> </ul>
	特定保健指導 未利用者勧奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職による電話勧奨</li> <li>・対象者の特定健康診査結果を元とした将来の疾病リスクを予想した通知物の発送</li> </ul>
三次 予防	医療機関への受診勧奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準値を超えてる人に対する通知勧奨(血圧、血糖、脂質、腎機能)</li> </ul>
	糖尿病性腎症重症化予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者への通知及び医療機関と連絡票を活用した連携 ・お薬手帳に貼る本市作成の「腎臓お守りシール」を活用した医療機関と薬局との連携</li> <li>・治療中断者への受診勧奨通知</li> <li>・対象者の拡大(R7 年度から)</li> </ul>

## (3) 医歯薬連携における糖尿病重症化予防

豊橋市の取り組みとして、特定保健指導対象者のうち、HbA1c5.6%以上または空腹時血糖値100mg/dL以上の者に対して、チェックリストにより「喫煙者」、「定期的に歯科医院に受診していない」について該当の有無を確認し、いずれかに該当した者に対してリーフレットを用いた情報提供及び歯周病セルフチェックを行い、9項目中3項目以上該当した者に対して歯科医院への受診勧奨を実施しました。

図15



基準値以上に該当し、チェックリストを実施した180人のうち、セルフチェックを64人に対して行いました。3項目以上該当した38人に対して歯科医院への受診勧奨を行い、11人が歯科医院を受診しました。(勧奨対象者の 28.9%)

評価時点で受診していない19人の未受診理由の内訳は「今後受診する予定」、「忘れていた」と答えた者が12人おり、今後受診につながる可能性があると考えられます。一方で「必要性を感じない」と答えた者は6人ありました。

## 特定健康診査 有所見者判定基準(資料2-1)

項目	判定基準
BMI	25 kg/m <sup>2</sup> 以上
腹囲	男 85 cm 以上
	女 90 cm 以上
空腹時中性脂肪	150 mg/dL 以上
随時中性脂肪	175 mg/dL 以上
ALT	31 U/L 以上
HDL-cho	40 mg/dL 未満

項目	判定基準
空腹時血糖	100 mg/dL 以上
随時血糖	100 mg/dL 以上
HbA1c	5.6 % 以上
収縮期血圧	130 mmHg 以上
拡張期血圧	85 mmHg 以上
LDL-cho	120 mg/dL 以上

## 糖尿病性腎症の病期基準(資料3-1)

糖尿病ありの定義	空腹時血糖 126mg/dL 以上 または、HbA1c 6.5%以上 または、糖尿病に該当するレセプトが発生している者
----------	--

糖尿病腎症病期	eGFR	尿蛋白	
腎症1期	30 以上	—	
腎症2期		±	
腎症3期		+	
腎症4期	30 未満	かつ	